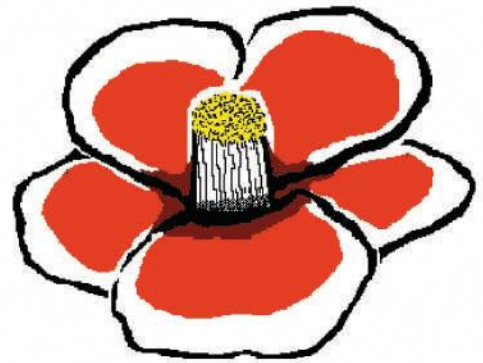


家畜衛生情報

つばき



季刊 第155号
令和8年 春号



箕岳園地の桜

目次

- P.2…平時こそ警戒を 口蹄疫対策の再確認
鳥インフルエンザ シーズン終盤も防疫徹底！
- P.3…登山・観光の際は要注意！豚熱感染拡大中！
- P.4…「マイクロMIX法」試してみませんか？
サシバエ等の吸血昆虫対策について
- P.5…異常産ワクチン接種の励行
令和7年度病性鑑定実施状況
- P.6…令和7年繁殖集計、令和8年度体制、
家畜保健衛生業績発表会開催案内

長崎県五島家畜保健衛生所
(五島振興局農林水産部家畜衛生課)

〒853-0031

長崎県五島市吉久木町725-3

TEL (0959) 72-3379

FAX (0959) 72-1023

E-mail s12230@pref.nagasaki.lg.jp



平時こそ警戒を □蹄疫対策の再確認

韓国において、2026年1月に約9か月ぶりに発生が確認されて以降、4月10日時点で牛3件と発生が継続しています。

2010年の宮崎県における発生では、約30万頭の牛・豚が殺処分され地域社会・経済に大きな被害をもたらしました。

国内への侵入リスクは依然として高く、引き続き警戒が必要です。

疑わしい症状にご注意!

発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流す、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。

牛



泡状のよだれ



びらん(水疱がやぶれた)



水疱

豚



潰瘍(水疱がやぶれた)



びらん(同上)

**疑わしい症状は
直ちに通報を
お願いします。**

病変写真：農林水産省 2010年宮崎県事例

鳥インフルエンザ シーズン終盤も防疫徹底!

発生予防対策の重要ポイント

家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在しています。
今一度、**点検・確認**をお願いします!

野鳥等の野生動物の
家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



農場に入る車両の徹底した消毒



小型の野生動物の侵入防止



家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



野生動物対策

人・物・車両対策

今シーズンは、10月に国内1例目
が確認されて以降、16道府県24事
例発生し、約576万羽が殺処分の対
象となりました。

直近では4月22日にも青森県の
養鶏場で発生が確認されたことや、
野鳥における高病原性鳥インフル
エンザウイルス検出事例もいまだ継続
しており、油断できない状況が続い
ています。

鶏飼養農家の皆様におかれまして
は、引き続き飼養衛生管理基準の遵
守とともに毎週末の農場の異状有無
確認にご協力をお願いします。

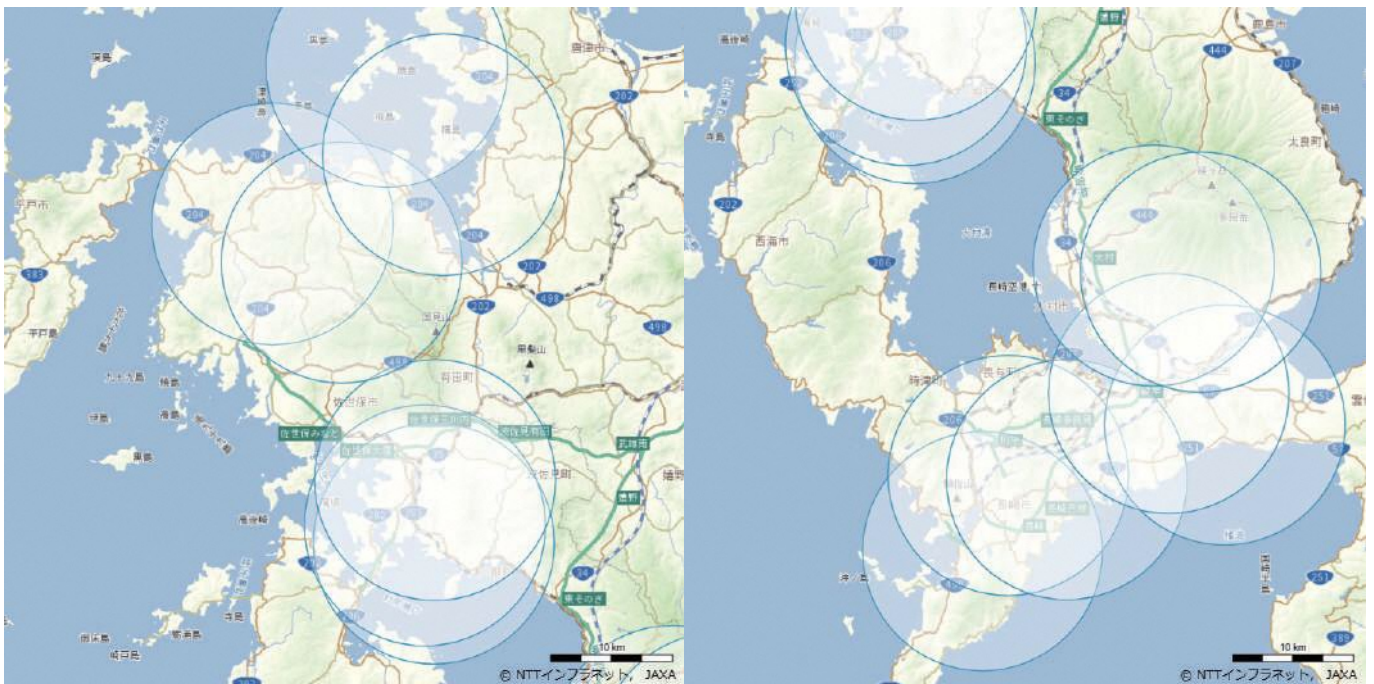
登山・観光の際は要注意! 豚熱感染拡大中!

本県では4月28日現在において、1,597件検査したうち、53件の野生イノシシ豚熱感染事例が確認され、昨年末まで、松浦市のみの発生でしたが、今年に入り、諫早市・佐世保市・長崎市・大村市と感染確認地域が拡大しています。

野生イノシシに対する経口ワクチンの野外散布を実施していますが、これ以上の感染拡大を防止するためにも、感染確認地域の山に入る皆様については、下記に示す豚熱ウイルスの拡散防止対策にご協力をお願いします。

また、豚飼養者の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理を徹底の上、適時・適切なワクチン接種実施を重ねてをお願いします。

長崎県豚熱感染確認地域(令和8年4月28日時点)



対策①

靴の泥は山で落とそう



感染いのししの生息する地域の土等にはウイルスが含まれている可能性があります。

対策②

ゴミは持ち帰りましょう

ゴミによりいのししが誘引され、ウイルス拡散リスクが上がります。



対策③

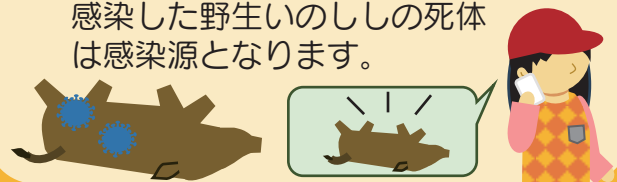
家畜がいる施設には近づかないようにしましょう



対策④

いのししの死体を見つけたら 管轄の自治体に連絡しよう

感染した野生いのししの死体は感染源となります。



「マイクロMIX法」試してみませんか？

アストップやロンテクト等の逆性石鹼は低濃度でも高い殺菌・殺ウイルス効果が得られ、毒性や刺激性が低く、家畜の体への噴霧や飲水消毒にも利用でき、金属腐食性も少ないため車両消毒等にもよく用いられています。

しかし、逆性石鹼には以下3つの弱点があります。

- ①低温下で効果が減弱
- ②有機物（糞などの汚れ）の存在下で効果が減弱
- ③エンベロープのないウイルス（口蹄疫ウイルスなど）には効果がない

逆性石鹼に粒が細かい水酸化カルシウム粉末（平均粒子径10 μ m以下）を添加することで、弱点を補い、より多くの病原体への効果が期待されます。

消石灰の成分も同じ水酸化カルシウムではありますが、平均粒子が150 μ mと大きいいため逆性石鹼との相乗効果が認められないので注意してください。

混合液の作り方：資材	1,000倍希釈（夏）	500倍希釈（秋～春）
逆性石鹼	200ml	400ml
マイクロ水酸化カルシウム （0.2%で作製の場合）	400g	400g
水	200L	200L

サシバエ等の吸血昆虫対策について

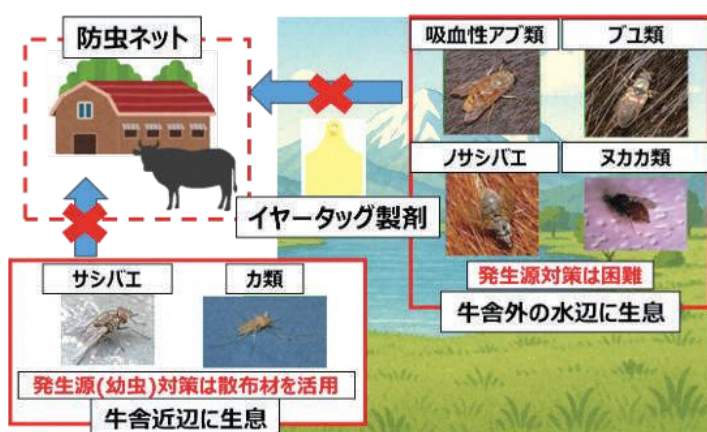
サシバエ等の吸血昆虫はランピースキン病、牛伝染性リンパ腫（旧牛白血病）やアルボウイルスなどの疾病発生を引き起こします。

以下の対策例を参考に吸血昆虫の生態に合わせた対策をお願いします。

サシバエや蚊などは防虫ネットの設置による成虫の侵入防止対策、吸血性アブ類等では防虫ネットに加え、発生源の特定が難しいため忌避剤入りのイヤータッグも効果的です。

また、散布剤は薬剤抵抗性を獲得しないよう、異なる種類の薬剤をローテーションで使用するようお願いします。

吸血昆虫の対策の例



吸血昆虫に対する薬剤のまとめ

害虫種	発生場所	幼虫対策	成虫対策
サシバエ	農場内の糞便・堆肥	○	ペルネットBK6、散布剤
イエバエ	農場内の糞便・堆肥	○	エコスピード、散布剤
吸血性アブ類	草地、川沿いの土壌中	×	ペルネットBK6、ペルタッグ
ノサシバエ	放牧牛の糞	△	ペルタッグ
ブユ	渓流などのきれいな流水	×	ペルタッグ、ペルネットBK6
ヌカカ	水辺、一部は放牧牛の糞	×	ペルタッグ、ペルネットBK6

異常産ワクチン接種の励行

前号（154号）に掲載しましたが、昨年度の調査において、五島管内では牛の流産や子牛の奇形を引き起こすアイノウイルス、イバラキウイルス、シャモンダウイルスの流行が確認されています。

これらの病気のうちアイノウイルス、イバラキウイルスにはワクチンがあり予防が可能です。ワクチンを接種する場合、ウイルスを媒介する吸血昆虫が発生するより1か月前に接種することになっています。また、ワクチンの種類によっては2回接種が必要なものもありますので、担当獣医師に相談をお願いします。

農場の損失を防ぐためにも異常産ワクチンの積極的な接種をお願いします。

アルボウイルス感染による牛異常産の主な発生時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ワクチン 接種時期				感染時期（蚊、ヌカカの活動時期）										
				死流産										
										起立不能、虚弱、奇形 (関節弯曲、大脳欠損など)				

畜産協会たより（R7年度 第2号）より参考

アイノウイルス感染による、斜頸や四肢の弯曲と拘縮がみられた症例



出典：カラーアトラス 牛の先天異常

令和7年度病性鑑定実施状況

令和7年度に当所で実施した病性鑑定は141件（牛：108件、豚：9件、野生イノシシ：22件、鶏：2件）でした。主な診断名は下表のとおりです。

牛の病性鑑定においては、解剖検査29件のうち15件が0～2カ月齢の子牛で、臍帯炎、大腸菌症、肺炎などと診断されました。

飼養者から、「初乳を摂取したのか分からない」、「哺乳できていたはず」等と聞かれた事例や、持ち込まれた牛体の汚れから飼養環境の改善が必要と判断した事例もみられました。

健康な家畜の生産には適切な飼料給与・飼養環境が必要です。

また、年間を通して一定の気温・湿度ではないため、時季にあった飼養衛生管理を心がけていただきますようお願いします。

畜種	主な診断名（疑い事例含む）・検査
牛	牛伝染性リンパ腫、牛大腸菌症、牛パスツレラ症、臍帯炎、肺炎、肺膿瘍、第四胃潰瘍、硝酸塩中毒 アルボウイルスサーベイランス、ヨーネ病抗体検査、牛伝染性リンパ腫抗体検査
豚	豚熱ウイルス抗体検査、ステージ別検査
野生イノシシ	野生イノシシサーベイランス
鶏	HPAIウイルスモニタリング検査

令和7年 繁殖集計より(凍結精液利用状況)

令和7年における管内の凍結精液利用回数は、県有種雄牛 4,512 回、県外 2,177 回でした。種雄牛別に見ると、利用回数上位4頭はいずれも県有種雄牛で占められており、利用回数第1位は、昨年に引き続き「**幸男**」でした。第2位には、昨年8位から大きく順位を伸ばした「**姫晴久**」が入りました。

また、崎山町生まれで一昨年デビューした「**勝太郎3**」は、基幹種雄牛の中でもバランスの取れた能力を有しており、MUFA の育種価も高く、利用回数に着実な伸びを示しており、今後のさらなる活躍が期待されます。

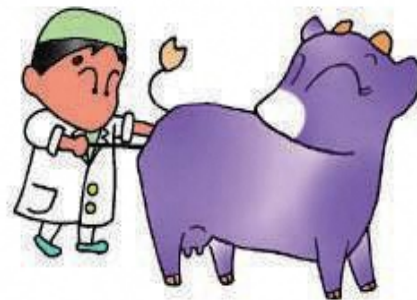
その他、岐宿町生まれの種雄候補牛「**晴日当 (はるひなた)**」の産子が誕生し、検定のために昨年度当管内でも購買されました。今後の成績動向が注目されます。

引き続き、肥育農家に好まれる子牛や優良な後継牛の生産に向け、県有種雄牛を有効にご活用ください。

なお、長崎県基幹種雄牛の枝肉成績につきましては、長崎県肉用牛改良センターのホームページに掲載されますので、併せてご活用ください。

管内における令和7年凍結精液利用状況

順位	種雄牛	利用本数	前年変動
1	幸男	1,497本	→(1位)
2	姫晴久	1,275本	↑(8位)
3	勝乃幸	421本	↑(4位)
4	金太郎3	415本	↓(2位)
5	福勝鶴	228本	↑(24位)



長崎県肉用牛改良センターHP

令和8年度五島家畜保健衛生所新体制

～よろしくお願ひします～

〈家畜衛生課〉

所長(課長) 早稲田

〈衛生班〉

係長 久保

(畜産課家畜衛生班より転入)

主任技師 木村

技師 広田

(畜産課肉用牛振興班より転入)

庶務(会計年度任用職員)
小林

〈所属としての挨拶〉

新たに畜産職職員が家保に加わりました。

欠員1名、木村は3時45分までの時短勤務です。

よろしくお願ひします。

〈開催案内〉令和8年度長崎県家畜保健衛生業績発表会

日時：令和8年5月27日(水)

場所：長崎県庁313・314会議室

(長崎市尾上町3番1号)

皆様の来場をお待ちしています。



表紙について

今年はいつ頃桜が咲き始めたんだろうか?と季節の移ろいを楽しむ余裕もなく、職員の撮った写真で花見気分…を味わせてもらいました。写真の「箕岳」も桜の時期は提灯が飾られ、夜まで花見客で賑わいます。